

令和4年度（2022年度）八代高等学校シラバス

教 科	芸術	科 目	美術
学年・類型	2・全	単位数	2
教科書	光村図書		
副教材	なし		
科目目標	美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしていくこと。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め、見通しを持って取り組むこと。 ○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養うこと。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていくこと。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①作品 ②確認テスト ③学習シート ④授業への取り組み状況	①作品 ②確認テスト ③学習シート ④授業への取り組み状況	①作品 ②学習シート ③授業への取り組み状況

各学期及び学年の成績算出方法について
3つの観点より評価を行っていきます。題材によっては、2つの観点や1つの観点からのみ評価を行う場合もあります。 知識・技能 40％ 思考・判断・表現 40％ 主体的に学習に取り組む態度 20％

学 期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価 方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	色の特徴を知ろう ・色の性質 ・色の効果	☐ 色の性質や効果について理解している。	☐ 色が社会にもたらす効果や役割に目を向けようとしている。	☐ 集中力を欠かすことなく、学習活動に取り組もうとしている。	知② 知④ 思② 思④ 主② 主③
	ポスタリゼーション ・色の作り方 ・平塗りの基礎	☐ 課題を理解している。 ☐ 材料の特性を理解している。 ☐ 他教科や体験からの学びを活用しながら理解に深まりを持たせている。	☐ 画面全体のバランスを考え対象を捉えようとしている。（造形） ☐ 自分なりの視点、技術をもって、課題内容を理解しようとしている。（描写） ☐ 自分なりの色彩表現が活かされ、独創性の芽が感じられる。（色感）	☐ 支持体、材料の特徴を活かした表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 課題の目的を積極的にとらえ、表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 集中力を欠かすことなく、表現の可能性に取り組もうとしている。	知① 知③ 知④ 思① 思③ 思④ 主① 主② 主③
2 学 期	西洋美術史 ・古代～印象派	☐ 課題そのものを理解している。 ☐ 答えるべきことがらの内容について理解している。 ☐ 専門用語の意味などについて理解している。		☐ 集中力を欠かすことなく、学習活動に取り組もうとしている。	知② 知④ 主② 主③
	デッサンの基礎 ・透視図法 ・鉛筆デッサン	☐ 課題を理解している。 ☐ 対象物の構造を理解している。 ☐ 他教科や体験からの学びを活用しながら理解に深まりを持たせている。	☐ 画面全体のバランスを考え対象を捉えようとしている。（造形） ☐ 自分なりの視点、技術をもって、課題内容を理解しようとしている。（描写） ☐ 自分なりの色彩表現が活かされ、独創性の芽が感じられる。（色感）	☐ 支持体、材料の特徴を活かした表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 課題の目的を積極的にとらえ、表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 集中力を欠かすことなく、表現の可能性に取り組もうとしている。	知① 知② 知③ 知④ 思① 思② 思③ 思④ 主① 主② 主③
	西洋美術史 ・キュビズム～近代美術	☐ 課題そのものを理解している。 ☐ 答えるべきことがらの内容について理解している。 ☐ 専門用語の意味などについて理解している。		☐ 集中力を欠かすことなく、学習活動に取り組もうとしている。	知② 知④ 主② 主③

	日本美術史 ・仏像	☐ 課題そのものを理解している。 ☐ 答えるべきことがらの内容について理解している。 ☐ 専門用語の意味などについて理解している。		☐ 集中力を欠かすことなく、学習活動に取り組もうとしている。	知② 知④ 主② 主③
3 学 期	アニメーション ・キャラクターデザイン ・コマ撮り	☐ 課題を理解している。 ☐ 材料、機材等の特性を理解し、的確に使用できている。 ☐ 他教科や体験からの学びを活用しながら理解に深まりを持たせている。	☐ 自分なりのテーマで、絵コンテを作成しようとしている。 ☐ テーマに沿ったキャラクターをデザインしようとしている。 ☐ 自分なりの表現が活かされ、独創性の芽が感じられる。	☐ クレイアニメーションの特徴を活かした表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 課題の目的を積極的にとらえ、表現の工夫に取り組もうとしている。 ☐ 集中力を欠かすことなく、表現の可能性に取り組もうとしている。	知① 知③ 知④ 思① 思③ 思④ 主① 主② 主③
	現代の美術		☐ 論理的に、わかりやすく展開しようとしている。(構成) ☐ 自分なりの視点をもって、課題を理解しようとしている。(解釈) ☐ 自分なりの考え方が書かれていて、独創的に表現しようとしている。(考察)	☐ 誤字・脱字がなく、「てにをは」など文末表現に間違いがない。 ☐ 文章の主語・述語が対応して相手にわかり易く伝わるような表現に取り組もうとしている。 ☐ 適切な語彙を用いている。	思③ 思④ 主② 主③